

～「さねさし」とは、相模の枕詞です～

## 文化財調査・普及員 第4期生の募集！

市民と行政のパートナーシップに基づき発足した文化財ボランティア「文化財調査・普及員の第4期生の募集を行います。

歴史などに興味がある方はもちろん、これから文化財について勉強したいという方も大歓迎ですので、ぜひご応募ください。

### 文化財調査・普及員って？

文化財調査・普及員は、平成15年に発足した文化財ボランティアで、現在1～3期生合わせて54名ほど登録されています。その主な活動内容は、次のとおりです。

- ①文化財パトロールの実施
- ②教育委員会主催の文化財普及事業へのスタッフ参加

その他、各種研修や発掘調査への参加などもありますので、興味のある方はぜひご応募ください。

一緒に仲間になりましょう！

### 現役の登録者より

私は、文化財調査・普及員になり、未知の世界を切り開いた心境です。軽い気持ちでやってみるかと思いましたが、文化財パトロールや田名向原遺跡公園のガイド仲間との交流や見学者との対話など、何となく自分が賢くなって行くようでいつも楽しく活動しています。ぜひ、仲間になりませんか。(西部班 嶋原)



竪穴住居を案内

### 目次

- ① 文化財調査・普及員第4期生の募集！
- ② 古道・地名班大山道踏破  
・地道にコツコツ古民家園普及活動
- ③ 田圃の傍らの「豚霊碑」から  
・岩宿遺跡と相澤忠洋
- ④ まぼろしの東海道武蔵道を歩く  
・文化財保護課からのお知らせ



参加した発掘調査

### 登録まで流れ：

9月～10月頃に行われる講習会（全10回）を受講後、意欲のある方を登録させていただきます。

### 申し込み方法：

はがき、FAX、Eメールのいずれかに、氏名、住所、電話番号、年齢及び「文化財調査・普及員応募」と明記の上、8月20日（木）までに市教育委員会文化財保護課までご応募下さい。後日、講習会の案内を送付します。

### 申込み・問合せ

相模原市教育委員会文化財保護課

〒229-8611 相模原市中央 2-11-15

TEL 042-769-8371 Fax 042-768-4066

Email: bunkazai@city.sagamihara.kanagawa.jp

## ついに大山頂上「大山阿夫利神社本社」へ～古道・地名班大山道踏破～

平成 19 年 3 月赤坂御門をスタートして、途中「さねさし 9 号」でその活動の中間報告をさせて頂いた「大山道に行く」ウォーキングは、平成 21 年 6 月 2 日ついに大山頂上の阿夫利神社本社に到達しました。

阿夫利神社は高麗神（たかおかみ）-水を司り祈雨、止雨の神-を祀っており、大山エリアに入ってから3月、5月の2度に渡り、雨でウォーキングを中止しました。その分大山山頂に到達した時の気分は最高で班員が重い荷物を苦ともせず担ぎ上げた缶ビールで乾杯しました。当日仕事や体調不良で参加出来なかった班員3名の分も合わせて、その目標達成に感動しました。ただ残念だった事は天候が悪く秀麗富士山が顔を出さなかったことです。

また、関東三十六不動一番札所の大山寺

の国指定重要文化財「不動明王」を、1～2mの近さで見た時の神秘的な雰囲気は今も心に焼き付いています。古道班ウォーキング「大山道に行く」がこれで終了したので、次回は「東海道に行く」として、7月に花のお江戸の日本橋からスタートとします。乞うご期待を。



大山頂上で気分も上々

(古道・地名班 光廣)

## 地道にコツコツ普及活動～第4日曜は古民家園事業の日～

平成 18 年 8 月に「昔あそび 作って遊ぼう」をテーマに第 1 回「水でっぼう作り」に始まった古民家園事業も、今年で 4 年目になるうとしています。

相模原の歴史に関する講演会、ミニコンサート、落語・手品、正月飾り作り、ひなまつり、おはなし会等、行なって来ましたが、徐々にですが、毎月第 4 日曜日は「古民家園事業の日」として認知されつつあるようで、おなじみさんの姿も見かけるようになりました。

今年度も、すでに 3 回は終了しましたが、8 月は「和太鼓」の力強い演奏とともに、過ぎ行く夏に別れを告げ、9 月には「仕事唄と子供ばやし」を計画していますので、相模川周辺の散策がてら、古民家園に足を運びませんか。



木の実工作は楽しいよ

### これからの予定

- 8 月 コンサート「和太鼓」
- 9 月 仕事唄と子供ばやし
- 10 月 講演会
- 11 月 木の実で遊ぼう
- 12 月 正月飾り作り
- 1 月 正月あそび
- 2 月 ひなまつりを楽しもう
- 3 月 囲炉裏を囲んで昔語り



8 月は和太鼓で熱く盛り上がります

(古民家園事業実行委員会 西田)

## ～田圃の傍らの「豚霊碑」から～

地域でもあまり知られていませんが、下当麻の田圃地帯の一隅に「豚霊碑」が建てられています。

碑文には、数々の豚品評会等の受賞記録が刻まれ、昭和34年4月建立になっています。

本来は、新磯地区の大規模養豚家の庭に建立されたものだそうです。その後、家族に病人が出るということで、ある寺のお坊さんに祈祷お祓いをしてもらいました。その折り、「豚霊碑」を庭に置くのはよくないと言われ、出入りの植木屋さんが管理している今の地に、5年ほど前に移設されました。

この碑を振出しに、養豚の歴史を調べてみました。

麻溝農協にも、旧石造物調査に記録されている「豚霊碑」があり、「昭和34年1万頭の豚出荷達成」と記されています。今、高座豚で綾瀬市がとりあげられています。最盛期でも飼育総数が7千頭ほどです。統計の観点が異なるので一概にはいえませんが、麻溝地区の規模の大きさがよくわかります。

養豚は明治期から始まり、ある時期には、

イギリスから「中ヨーク」といわれる種豚を輸入し、品種改良をし、数々の品評会で賞を取っています。下溝八幡宮近くの井上家には、大正15年受賞の大きな賞状やメダル、受賞豚の写真が保存されています。

嘗て、肉質のよさから「高座豚」としてもはやされていたのは、相模原、座間、海老名、綾瀬、寒川、藤沢等で飼育されていた豚の総称的なものでした。



(南部班 五十嵐)

## 岩宿遺跡と相澤忠洋

田名向原遺跡公園の中の住居状遺構は後期旧石器時代の人類の定住化の歴史を語る重要な遺跡として平成11年1月に国の史跡指定を受けました。そして、平成21年3月その旧石器時代学習館「旧石器ハテナ館」が開館しました。そこで、考古班、西部班、南部班ほか有志で毎週日曜日遺跡公園と共に「旧石器ハテナ館」のボランティアガイドをすることになりました。

早速、考古班有志3名で日本列島における人類の文化が「旧石器時代」段階までも遡るということを科学的に実証した群馬県の岩宿遺跡を見学しました。

岩宿遺跡の発見は昭和21年の秋で、そのメインとなった人が相澤忠洋です。岩宿遺跡は稲荷山側をA地点とし、村道を挟んだ南側をB地点とし、現在そこは遺構保護観察施設となっています。その遺跡の近くに岩宿博物館があり、その建物は黒曜石の特徴である舟形をしている博物館です。ここには人類の時代と環境、それに旧石器時代の人

の狩猟や生活の道具である石器の作り方、使い方を解説し、各地で発見された石器文化の地域性や移り変わりなどが紹介されています。「旧石器ハテナ館」ボランティアガイドにとっては非常に参考になる博物館でした。そのあと、桐生市新里町奥沢537にある相澤忠洋記念館へ行き、館長であり、忠洋の妻である相澤千恵子さんから記念館の説明や遺跡発見後の苦労話を聞きました。

岩宿遺跡を発見し、日本に旧石器文化があった

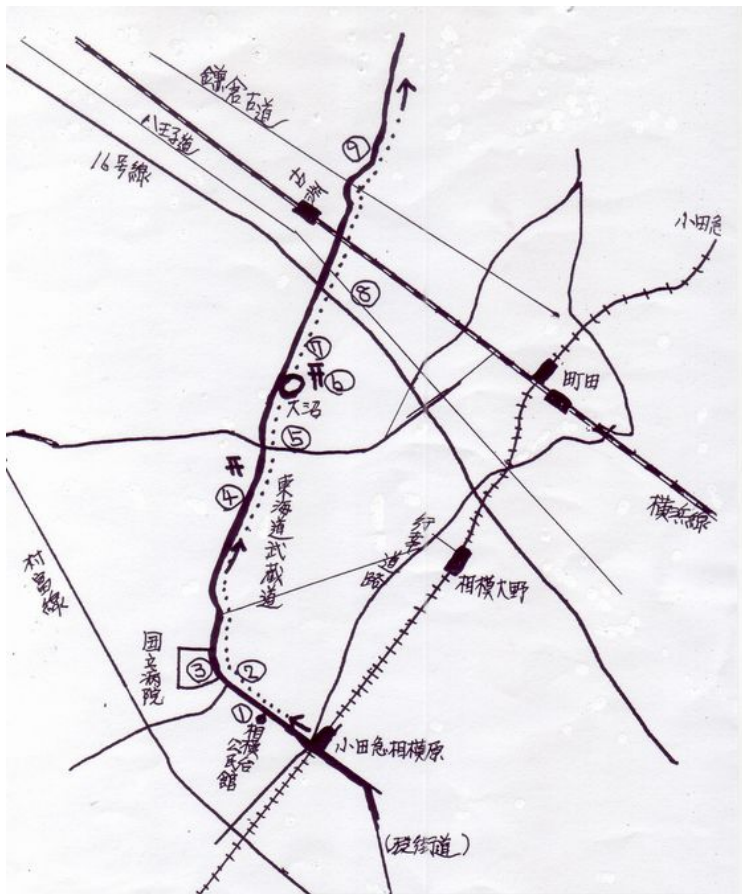


岩宿の相澤忠洋像

ことを初めて実証した相澤忠洋の人間性について熱いものを感じた見学会でした。

(考古班・光廣)

## まぼろしの東海道武蔵道を歩く — さねさし相模の小野に燃える火の (オトタチバナヒメ) —



\* 次号以降も各地区の文化財マップを紹介いたします。ご要望があれば、文化財調査・普及員が各地区の文化財の案内をいたしますので、文化財保護課までご連絡ください。

今回は小田急相模原から古淵まで、大沼での野火の難を詠った古東海道武蔵道のロマンを求めて歩いてみました。

この道は771年(宝亀2年)に武蔵国が東海道に属したために、相模の国分寺から多摩丘陵(よこやまの道)を超え武蔵国分寺、東山道を通り下野国(栃木県)の足利駅まで続いていました。現在でもほぼ一直線にこの道を辿ることが可能です。

この道筋には、古事記のヤマトタケルが野火の難に会った言い伝えがあり、大沼や鎌倉古道とも交差し、何かロマンを感じさせる古道です。

国立病院機構相模原病院から南、相模国分寺までの道筋は不明ですが辰街道(木曾から星谷観音)へ向かっていると思われます。

なお、この道を歩く際には大変交通量が多いため、歩く場合は十分注意が必要です。

①辰街道碑—②電信神社碑—③行事記念碑—④大沼観音堂(三面六地藏、中里先生筆子塚)—⑤秋葉神社、地神塔、震災記念樹の碑—⑥大沼神社、水田記念碑(古事記ヤマトタケル火難の記有り)—⑦双体地藏(昭和57年建立)—⑧八王子道の碑⑨しもさかの碑

(南部班 阿久津)



### 文化財保護課からのお知らせ

#### 城山町小倉 小保戸遺跡発掘調査見学会

かながわ考古学財団がさがみ縦貫道路建設に伴い調査を行っている城山町内の小保戸遺跡で、旧石器時代の発掘調査現地見学会を開催します。

・8月1日(土) ①AM11時 ②PM2時 小保戸遺跡発掘調査地にて

#### 城山町川尻 苦久保遺跡の発掘調査が始まります

古代の集落跡が確認された苦久保遺跡近隣で、(仮)城山町文化センターの建設に伴う発掘調査が9月上旬より始まります。10月頃に見学会を予定していますので、乞うご期待ください。



苦久保遺跡の古代住居跡

\* 文化財調査・普及員の活動や通信紙「さねさし」のバックナンバーは次の手順で閲覧できます。

相模原市ホームページ → 観光・文化(一覧を表示) → 文化財・史跡 → 文化財調査・普及員

発行連絡先 相模原市教育委員会 文化財保護課 電話 042-769-8371